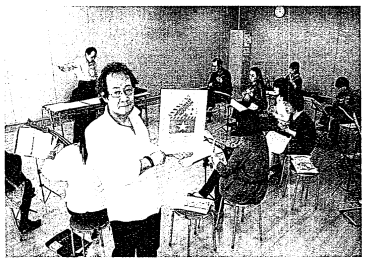
朔太郎とマンドリン楽団描いた長編作品

米映画祭で金賞

桜井監督（前橋出身）2度目の快挙

米国・ヒューストン国際映画祭の長編ドキュメンタリー部門で、前橋市出身の映画監督、桜井真樹さん（62）が手掛けた映画「ヒューマニティの伝統」萩原朔太郎と群馬マンドリン楽団」が金賞を獲得した。桜井は25日までに、市役所東館1階の放送スタジオから撤退した。昨年度から市の資金援助が打ち切られ、経費削減の一環。阿部社長は、市内の別の場所に拠点を移し、今後も放送を続ける」と話している。



▲練習に取り組む群馬マンドリン楽団と、金賞の賞状を手にする桜井監督

「ヒューマニティの伝統」は、前橋市出身の詩人で、マンドリン音楽の普及に努めた萩原朔太郎（1886～1942年）と、朔太郎の孫弟子で群馬マンドリン楽団を主宰する酒匂文則さん（70）の活動を半年間にわたって追い続けた作品。昨年発表され、今年4月の同映画祭に出品していた。

ヒューストン国際映画祭は1961年の創設で、過去の金賞受賞者にはスティーブン・スピルバーグやジョージ・ルーカスら世界的な著名監督が名前を連ねている。

毎年、劇場用映画やアニメーション、テレビ作品など幅広い分野の作品が各国から寄せられ、今回の長編ドキュメンタリー部門には32カ国から100本の作品が寄せられた。

8日に記念上映と演奏会

監督は2008年のドラマ部門に続く金賞で、2部門の受賞は同映画祭で初めて。7月8日には、前橋市で受賞記念の上映会と群馬マンドリン楽団による演奏会が開かれる。

桜井監督は、08年のドラマ部門に出品した映画「母外与子―愛は悲しみを超えて」でも金賞を獲得、映画祭主催者から、審査員の談話として「3年間で2度取り組んでいきたい」と話している。

桜井監督は「素晴らしい音楽楽団を生んだ前橋市の文化が海外で評価され、獲得した金賞だ。今後も県内の文化を題材にした作品に取り組んでいきたい」と話している。

記念上映会と演奏会は前橋市本町の煥平堂で8日午後2時半から。入場無料。問い合わせは両角さん☎027・231・1364へ。

作務衣姿で花がら摘む

館林花菖蒲園

「たてばやし花菖蒲まつり」が開かれている館林花菖園（館林市尾曳町）で25日、花笠に作務衣姿の「花摘み娘」による花がら摘みが行われた＝写真。

咲き終わった一番花の花がらを摘み、二番花の開花を妨げないようにするのが目的。花摘み娘は大泉保育福祉専門学校の生徒が務めた。

270種2万7千株のハナショウブが咲く園内には多くの観光客が詰め掛け、丁寧に花がらを摘み取る花摘み娘とハショウブとの共演をカメラに収めていた。26日午前10時と同11時にも実施される。

いせさきFM〝退庁〟

市の援助中止、放送は継続

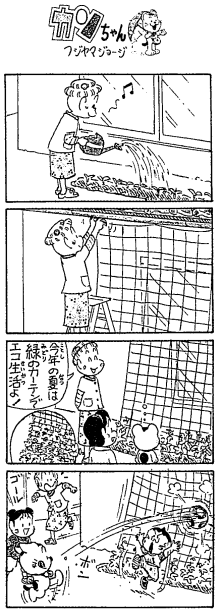
伊勢崎市とその周辺を放送エリアとするコミュニティーラジオ放送局「いせさきFM」（阿部康幸社長）は25日までに、市役所東館1階の放送スタジオから撤退した。昨年度から市の資金援助が打ち切られ、経費削減の一環。阿部社長は、市内の別の場所に拠点を移し、今後も放送を続ける」と話している。

いせさきFMは、今月いっぱいで市役所1階の放送スタジオの賃貸借契約を解除することを市側に伝えた。市に支払う年間の賃貸料は約90万円。既に機材や備品などを運び出し、ほとんどの作業を完了させた。新たな放送スタジオを同市平和町に設け、総務省関東総合通信局にも届けた。市営住宅に設置されている送信施設は引き続き使用する。

開局は2003年1月。市は番組制作・放送委託料として08年度に約908万円、09年度に約930万円を補助していた。10年度は当初予算で約833万円を計上していたが、実際には執行されず、本年度当初予算には関連予算を計上していない。

多くの地域コミュニティーラジオ局は地元自治体と防災協定を結んでいるが、いせさきFMと市は締結していない。横沢明企画部長は「防災に対する効果がはっきり証明しにくく、費用対効果を考えて委託中止を決めた。災害時の情報発信は、防災無線の充実や今年4月から始めた『いせさき情報メール』などで対応したい」と説明している。

いせさきFMは本年度、県中部県民局から約100万円の補助を得ているほか、地域の商店や企業のスポンサー収入で運営している。役員は「応援してくれる地域の商店や企業の協力を得て、今後も市民のために放送を続けていきたい」と話している。



「改善策承認で区切り」

県サッカー協会運営費横領　谷津会長が辞意

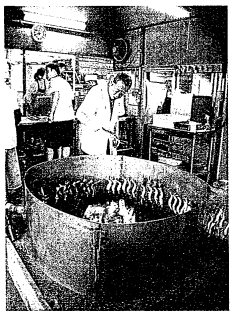
県サッカー協会の前事務局長、高橋義之容疑者（55）が運営費を横領した事件で、谷津義男会長は25日、前橋市内で開かれた総会で、「責任を受け止めて会長を辞任したい」と引責辞任する意向を正式に表明した。来年までの残りの任期を務める後任の会長は理事の中から選ばれる見通し。

高橋容疑者が着服していたとされる当時、理事だった現副会長と専務理事だった現理事も谷津会長に辞任を申し出た。

谷津会長は総会で、事件について「監督不行き届きで申し訳ない。理事と責任を」と陳謝。総会は、このほか、これまで3通あった通帳を1通に減らし、各委員会の会計処理を本部に一元化するなどの改革案を承認した。

会員からは総会の最後に、「もっとしっかりしたい改革案にしてから辞任すべきだ」との声もあった。谷津会長は総会後、記者団に「再発防止のため改善策を練り、承認を得たことで一つの区切りと考えている」と話した。

事件をめぐっては、2009年度決算の監査で約1900万円の使途不明金が発覚。協会は今月上旬、高橋容疑者に対して約440万円の損害賠償を求めて前橋地裁に提訴した。高橋容疑者は、運営費20万円を着服したとして逮捕、送検されている。



時の話題

▽渋川市北橋町八崎の落合築が25日に営業を始め、利根川を吹き渡る涼しい風を受けながら、旬のアユを楽しむ人たちでにぎわった。10月2日まで。

▽店主の黒岩基次さん（63）によると、今年は節電の影響もあって涼を求める人が多いのか、営業開始を待ちわびる問い合わせが相次いだという。人気は塩焼きや刺し身で、辺りにアユを焼く香ばしいにおいが漂った＝写真。

▽毎年訪れるという埼玉県坂戸市の師格さん（67）は「ここで食べるアユは格別」と、目の前の眺望を楽しみながら舌鼓を打った。渋川市内には3カ所の築があり、綾戸築（赤城町棚下）も同日の営業開始で、坂東築（北橋町下箱田）は7月1日に始まる。

あなたが目指すところへ一気に近づく。
夏期講習会 受付中
夏のスペシャルイベント
■〈国公立医学部編〉入試「最新情報」説明会
7/3(日) 11:00～12:00 説明会
12:10～ 個別相談〈ご希望の方〉
対象 受験生とその保護者（参加費無料・要予約）
■センター試験対策セミナーpart1&学習相談会
7/9(土) 17:30～ 数学Ⅰ・A（薄田比登美 講師）
19:30～ 数学Ⅱ・B（薄田比登美 講師）
7/10(日) 9:00～ 英語（木村 智光 講師）
11:00～ 古典（北澤 紘一 講師）
13:30～ 現代文（湯浅 篤志 講師）
※学習相談会は、7/10(日)のみ実施します。
対象 高3生 受講料 1講座：¥500（消費税込み）
■東大入試（前期）の「再現答案」から探る（合格の秘訣）
7/10(日) 9:00～15:50 英語・数学・国語
8/13(土) 11:00～16:40 理科・地歴
対象 東大を目指す高校生、高卒生、中高一貫校生
受講料および詳細 専用チラシをご覧ください。
※第1回東大入試プレ受験者は無料。（ただし、セミナーを申し込んだ後に模試を申し込んだ場合、受講料の返金はできません。）
フレックス・サテライン無料体験受講
夏期講習会講座：受付中
※2011年度夏期講習会と同一名称の昨年度講座第1講を体験することができます。（一部講座を除く。テキストは貸し出します。）
Y・SAPIX高校部
東大・京大&難関大入試突破のための "究極の現役合格塾"
入会説明会 ※お電話にて、ご予約ください。
7月2日(土)・9日(土) 13:30～14:30
1. 基本コンセプト 2. カリキュラム説明 3. 入会手続方法 4. 質疑応答（希望者の方）
案内書は無料でお送りします。（ホームページからも請求できます。）
http://www.y-sapix.com
代ゼミ模試
第1回東大入試プレ 7月16日(土)・17日(日)
全国論文テスト 7月17日(日)
第2回全国センター模試 7月24日(日)
第1回京大入試プレ 7月31日(日)
第1回高1・高2トップレベル模試 7月31日(日)
■案内書は無料でお送りします。（代ゼミホームページからも請求できます。）
代ゼミホームページ パソコン http://www.yozemi.ac.jp/ ケータイ http://www.yozemi.ac.jp/i/
志望校が母校になる。代々木ゼミナール 高崎校
〒370-0841 高崎市栄町3-26（高崎駅東口前） 0120-16-4305
SAPIX YOZEMI GROUP

7月3日(日)は
群馬県知事選挙の
投票日です

知事候補
こすげ啓司
日本共産党
県民の命とくらしを守る4つのチェンジ
●原発ゼロ・撤退、自然エネルギー先進県へ
●災害に強い群馬に
●福祉・教育 日本一の県に
●地域経済・農林業が元気な県へ
小池晃 党政策委員長 来る！ 本日午後2時 高崎駅東口
群大工学部卒。60歳。■党中央委員・群馬県委員長。

ピアノ高価買取
20～40年前のピアノ大歓迎!!
眠っているピアノを活躍するピアノへ
査定 引取運賃 無料
安心と信頼の実績
株式会社さくらピアノ
0120-064-837
9:30～21:00（年中無休）

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。